

区内では『連携ファイル』を活用し、 支援のリレーを行っています

連携ファイルとは・・・

- 連携ファイルは、お子さんの力をいかした生活が送れるように、保護者とお子さんを支援する機関（保育園、幼稚園、学校、療育機関等）が協力して作成するファイルです。
- それぞれの機関が園や療育機関でのお子さんの様子や支援の状況を、保護者の方を通じて共有し連携を図ることで、お子さんのより良い支援にいかすことを目的としています。情報を共有する中でお子さんの成長をより促すかわりをみつけていくことも目的としています。
- 就学時には学校が幼児期のお子さんの様子や支援内容を引き継ぎ、さらに一貫した支援体制を作ることをねらいとしています。

中身は・・・

連携ファイルは、お子さんが安心して過ごせるように必要な支援や環境づくりに必要な情報をまとめたものです。

■私の紹介

葛飾区内の相談・療育機関（子ども総合センター、児童発達支援センター、児童発達支援事業所、相談支援事業所など）の共通の面談用資料です。

■アイリスシート

お子さんの得意なことや苦手なこと、配慮の方法を引き継ぐために、現在通っている園や学校、療育機関等が年に1回作成するシートです。お子さんの利用している機関により、園用、療育機関用、医療機関用の3種類があります。

■連携機関リスト

お子さんが関わっている関係機関のリストです。
情報提供の可否について保護者にご記入いただく欄がありますので、A 園には見せてもいいけれど、B 機関には見せたくないというような場合には、情報提供の可否欄にそれぞれ○で囲んでください。☒のついた機関や園には情報提供を行いません。

連携ファイルの作成方法は・・・

- 連携ファイルは、主に葛飾区内の相談支援事業所、葛飾区子ども総合センターで、お子さんについての相談時に作成しています。
- 連携ファイルの各書式は区のHPからダウンロードできます。

連携ファイルの活用方法

- 連携ファイルの管理は保護者の方にお任せしています。お子さんの支援に必要な情報を必要な場所へ提供する際に、この連携ファイルを活用してください。
- 就学をむかえるお子さんの場合、学校に進学する際の準備にも活用できます。学校への引き継ぎ資料としてお役立てください。

「連携ファイル」による支援のリレーを行います

「連携ファイル」は、乳幼児期から学校生活、就労にいたるまで一貫した支援を受けられるように、お子さん一人ひとりの発達の様子を記録するためのファイルです。



連携ファイル

私の紹介
区内共通の面談用資料です。
お子さまの基本的な状況が記入されています。

アイリスシート

保護者と支援機関が協力して作成する連携シートです。お子様の得意苦手、配慮方法などを引き継ぎます。

お子さんの療育のために、支援に関係する機関は保護者の同意に基づき、「連携ファイル」を通じて情報を共有し、連携しながら支援の充実を図ります。